

新 域

「肉と焼酎のまち」を

全国にPRしていきま

より積極的にふるさと納税制度を活用して



10月から「都城市のふるさと納税」が生まれ変わります。

ふるさと納税を利用して本市を応援してくれた市外の人に、「肉と焼酎のまち」をPRする魅力的な都城市の特産品を贈ります。

◎問い合わせ

総合政策課 ☎23-2115

ふるさと納税制度

ふるさと（自分が応援したいと思う都道府県や市区町村）に対し、個人が2,000円を超える寄付をした場合、住民税（2,000円を超える額）と所得税（2,000円を超える額）から一定の控除を受けることができる制度です。この制度は、全国の自治体が活用していて、その多くが寄付金の使い道を指定できたり、特産品をもらえたりする特典があります。

ふるさと納税で「都城市」をPR

今回の見直しの目的は、ふるさと納税制度を通して、より多くの人に本市を応援してもらうことと合わせて、もっと「都城市」を知ってもらうことです。本市に寄付をした全ての市外の人に、本市が誇る肉や焼酎などの特産品を贈ることとで本市の魅力をPRします。

特産品贈呈の対象

寄付先として本市を選んでもらった感謝の気持ちを込めて、本市をPRする特産品を贈る対象は、1万円以上の寄付をした市外に住んでいる人で、年度内に1回限りです。



都城市にふるさと納税をしてもらうために

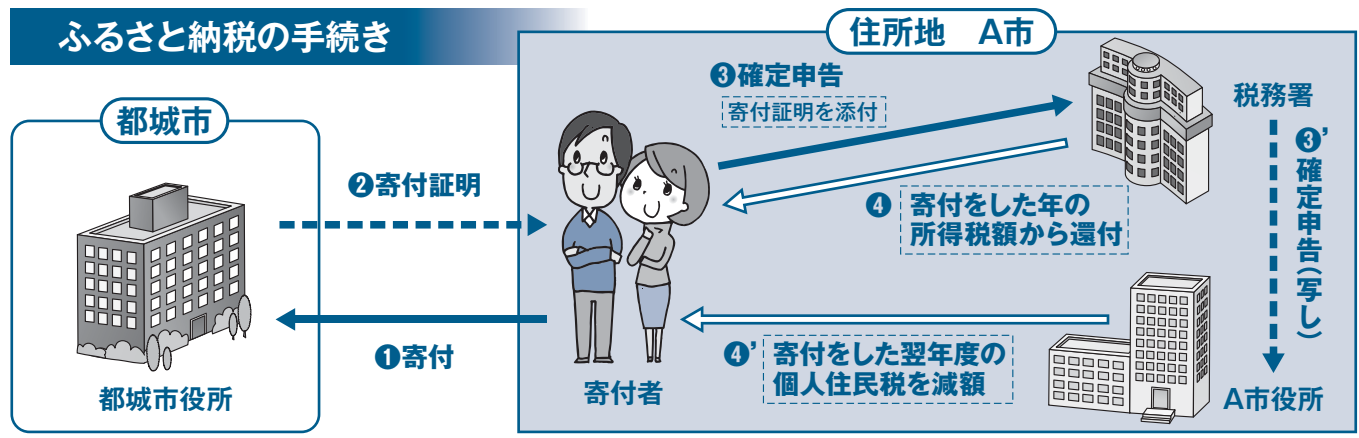
市では、より多くの市外の人が、本市のふるさと納税制度を理解し寄付してもらうため、市のホームページで制度の紹介と合わせて、肉や焼酎などの魅力的な特典を紹介していきます。

また、ホームページでは、ふるさと納税情報のページから寄付を申し込むことができます。このほかにも、電話やファクス、メールでも受け付けています。

必要な手続き

本市に寄付していただいた場合、寄付証明を発行します。この寄付証明を確定申告のときに提出することで、住んでいる市区町村の個人住民税と所得税が減額されます。

ふるさと納税の手続き



寄付金の使い道

本市では、寄付するときに「子ども支援」「まちづくり支援」「環境支援」「スポーツ・文化振興支援」「長寿支援」「災害対策支援」「人口減少対策支援」から、使い道を選ぶことができます。

クレジットカードを利用した寄付もできます

クレジットカードでも寄付することができます。専用のサイトからの申し込みが必要です。まずは、市のホームページから寄付の申し込み手続きを行う必要があります。

都城市のふるさと納税制度を広めてください

ふるさと納税の寄付者が増えることで、都城市の特産品が全国に知られ、地場産品の消費拡大にもつながります。そして、注目されればされるほど、本市をPRすることができます。

市民の皆さんも、ぜひ、市外の親戚や知人に本市のふるさと納税のことを広めてください。



都城市PRRロゴが利用できるよう になりました！

書家・紫舟^{シシユ}さんが手掛けた都城市のPRRロゴを使ってみませんか。利用は無料ですが、用途によっては事前に申請し、市の許可を受ける必要があります。

◎問い合わせ みやこんじょPR課 ☎23-2615

利用できるPRRロゴ

縦と横の2種類が利用できます。縦横の比率そのままの拡大や縮小は可能ですが、変形や切り離して利用することはできません。

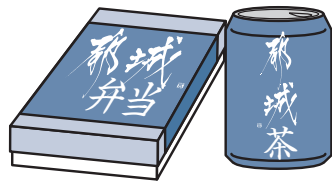


利用例

- 市内で生産・加工された農林畜産物や加工品に貼るシールなど
- 市内の事業所が加工した菓子類や弁当などの包装紙や紙袋類

次のような利用はできません

- 色やデザインの変更
- 企業名や企業ロゴとしての利用
- PRRロゴそのものを商品化すると誤解を生む恐れがあるもの
- その他、本市やPRRロゴのイメージを損なう恐れがあるもの



※年賀状などで個人的

に利用する場合は、申請は不要

申請書や利用の手引きは、市のホームページからダウンロードできます。

ETC車載器設置費用の一部を助成しています！

市では、平成28年度中の供用開始を目指して、山之口SAのスマートICの整備を進めています。スマートICが設置されることで期待される効果と、ETC設置費用の助成制度について紹介します。

◎問い合わせ 総合政策課 ☎23-2115

期待される効果

日常生活の利便性の向上

市内から宮崎ICまで30分で行くことができる圏域が、約3倍に拡大。山之口総合支所から宮崎ICまでは、約17分の時間短縮が見込まれます。

農業・工業・観光の振興

物流の効率化が図られ、産業の活性化や定住促進、観光資源の有効活用につながります。

救急救命体制の向上

第3次救急医療施設である宮崎市病院などへの搬送時間の短縮により、救命率の向上が期待されます。

災害への対応

災害が起きた場合、宮崎市などを後方支援する本市の役割に期待が高まります。



ETC車載器設置費の助成

山之口スマートICの利用を促進するため、ETC車載器を新たに購入する人や事業所に対して助成を行っています。

対象

- 市内に住所があり、市税を滞納していない個人または法人
- 市または三股町内の取扱店で、新品のETC車載器を購入し、セットアップをした人

対象外

中古品の設置や新品への買い替え、所有するETC車載器設置車両の更新による買い替えなど

助成金額

1台当たり5,000円（5,000円に満たない場合は実費。対象経費は車載器購入費、工賃、セットアップ経費）

この他にも条件がありますので、詳しくは市ホームページで確認するか、電話で問い合わせください。

未来につなげよう!

活力ある自治公民館

自治公民館は、地域の皆さんが中心となって、自助・共助の精神で組織された団体です。自治公民館が果たす役割や、自治公民館への加入促進の取り組みについて紹介します。

◎問い合わせ コミュニティ課 ☎23-7146

自治公民館って？

現在、市内には303の自治公民館があり、地域行事などを通じて住民同士の親睦・交流を図り、協力しながら地域の課題を解決しています。自治公民館は、暮らしの安全・安心を支える身近で頼れる組織です。

こんな活動をしています！

安全・安心なまちづくりのために、自治公民館が中心となってパトロールや、子どもと高齢者の見守りなどを行っています。また、災害に備えて防災訓練を実施している自治公民館もあり、いざというときに対処できる体制を整えています。さらに、六月灯や運動会、講



演会など、健康増進や福祉の向上を目的に、さまざまな催しも行っています。

その他にも、公園や道路脇の草刈り、河川清掃、ごみステーションの管理やリサイクル活動など、快適で住みよいまちづくりのための活動を行っています。



自治公民館に加入するには

加入方法については、最寄りの自治公民館長や班長に相談ください。最寄りの自治公民館長などが分からない場合は、コミュニティ課または各総合支所教育課や、お住まいの地域の地区公民館に相談ください。

「加入してよかった」、自治公民館に加入した住民の声

- 暗い通学路に、公民館で防犯灯を設置してもらい助かりました
- 回覧板で知った男性料理教室に参加し、料理が上達しました。色々な催しのお知らせが届くので、いつも楽しみにしています
- ボランティア活動中に皆さんが喜んでいる顔を見ると、すがすがしい気持ちになります
- 役員として活動する中で、市や警察などの役割が分かり、漠然と抱えていた問題の解決方法が分かるようになりました
- 引越して間もないころ、危険箇所を教えてもらいました。近所の人が顔なじみだと安心して暮らすことができます

住みよいまちづくりのために

市は、次の二者と「都城市における自治公民館への加入促進に関する協定」を締結しました。

今後、相互に協力して自治公民館への加入促進の取り組みを行っていきます。

都城市自治公民館連絡協議会
各自治公民館に対し、協定の目的を周知し、積極的に自治公民館加入を推進します。

都城宅地建物取引業協同組合
会員に対し、協定の目的を周知し、新規契約時などに自治公民館加入を促します。

都城市
市民に対し、自治公民館活動に関する情報を提供し、加入啓発に努めます。また、職員の全員加入を目指します。

インタビュー



地域を見守るネットワーク作り
上東自治公民館長
日高 繁樹さん
(上東町)

地域の見守りを支援する「上東友愛ネットワーク会」を、平成24年10月に立ち上げました。

一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯などを、ネットワークと呼ばれる支援員が見守っています。

現在11人いるネットワークは、それぞれ近所の支援対象者に日ごろから声を掛け、月に1度の定例会で、情報交換をしています。

その他にも、月に1度オレンジカフェ「夢広場」を開催し、高齢者の皆さんのふれあいの場を設けたり、食事会や茶話会などを開催したりしています。

今後も見守りを継続して、絆で結ばれた地域づくりをしていきます。